

FIFO・LIFO について

FIFO（First In, First Out, 先入れ先出し）とは、次々にテキストをコピーして、ある程度溜まったら、今度は先にコピーしたものから順に次々に貼り付けるという動作です。

LIFO（Last In, First Out, 後入れ先出し）とは、次々にテキストをコピーして、ある程度溜まったら、今度は後にコピーしたものから順に次々に貼り付けるという動作です。

FIFO 動作や LIFO 動作を開始するには、次のようにします。

- ① ペーストツールを「ウィンドウモード」で起動します。
- ② 「クリップボード履歴」グループが選択されていない場合は、選択します。
- ③ 「拡張パネル」が表示されていない場合は、表示します。
- ④ 「FIFO 動作」や「LIFO 動作」を選択します。



FIFO 動作や LIFO 動作は、ペーストツールを閉じる、他のグループを選択する、「通常動作」を選択する、のいずれかで終了します。

FIFO 動作や LIFO 動作では、次の 4 つのキーボード操作のみを行えます。

- ① Ctrl + C
テキストをコピーします。
- ② Ctrl + A
複数のテキストを一度にまとめてコピーします（※ 1）。
- ③ Ctrl + V
テキストを貼り付けます。
エクセル上では若干の制限があります。回避策は※ 2を参照してください。
- ④ Ctrl + Z
テキストの貼り付けに失敗したとき（※ 3）、失敗したテキストを履歴にいったん戻し、再度貼り付けられるようにします。

※ 1 Ctrl + A でコピーしたテキストは、改行文字と Tab 文字で区切られ、それぞれの部分が区切られた順に一度にまとめてペーストツールに溜まります。

次項の図は、ワープロソフトと表計算ソフトで色のついた部分をコピーした際に、どのように区切られ、どんな順番で溜まるのかを例示しています。

①	吾輩は猫である。	②	夏目漱石
③	(Tab文字)		
④	吾輩は猫である。		
⑤	名前はまだ無い。		
⑥	どこで生れたかとうんと見当がつかぬ。		
⑦	何でも薄音いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。		
⑧	吾輩はここで始めて人間というものを見た。		

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		①	②	③	④	⑤	
3							
4		①					
5		②					
6		③					
7		④					
8		⑤					
9							
10							
11		①	②	③			
12		④	⑤	⑥			
13		⑦	⑧	⑨			
14		⑩	⑪	⑫			
15							

※ 2 エクセル上で Ctrl + A でまとめてコピーしたテキストを、同じエクセル上で一つずつ順に貼り付けようとする、なぜか、区切られないで元の形のまま貼り付けられる場合があります。これは、エクセルの何らかの機能によるものと思われます。

これを回避するには、まとめてコピー後、1つ目のテキストを貼り付ける際、セルをダブルクリックするか F2 キーを押して編集モードにしてから実行してください。2つ目以降は、編集モードにしなくても大丈夫です。

※ 3 できるだけゆっくり操作をすることで、失敗は減ります。個々の PC の能力や相手のアプリの重さにもよりますが、クリップボードはそれほど俊敏には反応しません。
また、相手のアプリがコピーや貼り付けに関して特殊な機能を備えている場合、FIFO 動作や LIFO 動作が正しく機能しない場合があると思われます。